

下 叅 白

7M-10 (新) (清)

俳諧資料カ一下	
年代	文政下西
編者 (筆者)	下叅 26 9 19 7
書名	白山下
備考	

(下垣内 蔵)

安永六丁酉

下徳久徳連中

茶目

相下坊

寺川あふくまもろくろく市功日致

名賢

中西町 寺子目三三三番
下徳内札
電話〇八三三十七九六四番
大天
大庫

松竹の香も所、免くかきうふ 成田 梅曉

いそ意候し厚ふは海に常あり 素松

指ふ小みひやうし若花を先 文甲

管ひ横やまの丸雅の口ひき 杉雨

重も新ひふうけてりとの香 芳批

万如や数上の色み 山高

山登りの免ひも高し 選王

功りや稚もあきぬ風のき 初月

高しゆもなふ柳の命か 殺雪雨

まのゆり... 雲の合や 多夢

ふらぬや七ツいろは 己凡

高しやうて節いもあ九 梅香

茶目

松と枝折より 素松

去しやいりん 文甲

深りの障子 梅曉

兼ひ 殺雪雨

嵐く 山高

指子 梅曉

解部 相下坊

京橋紙板

